

特定非営利活動法人

認知症予防ネット通信

法人活動の責任と目標

講師認定制度

「みんなの認知症予防ゲーム」が少しずつ各地で浸透しています。自治体自らの主催によるゲームリーダー養成講座も徐々に増えてきました。

ゲームリーダーが増え、予防教室が各地で展開されるのは、大いに喜ばしいのですが、行き詰まったような噂も聞こえてくるようになりました。

リーダー養成講座を実施する講師側の、ゲーム進行技法が弱い場合は成果も出ないので、講師の質を高める「講師認定制度」が必要だということになり、昨年度より試験制度を始めました。

リーダー養成を行う講師一人ずつに、実技伝達の仕方を試験して、合格者には講師資格認定証を交付すると

いう、当NPO法人在籍講師の資質向上を願うての活動です。

7月7日、8日の二日間、事前研修と面接試験を行いました。試験日の10日前を期限としてペーパーテストの回答を送って頂きました。定員は6名です。

「思うところを述べよ」式の回答文を読みますと、一人ずつとらえ方が違ふと言うことが、分かります。その中に共通するのは、それぞれが一市民の立場でありながら、認知症予防に取り組む決意が強く、6人の意気に感銘を受けました。

草莽そうもうの志士のような個々人が、養成講座の実施方法を試験という形で深められます。

一大飛躍を遂げられて、飛び火のように強い伝播のうねりが起きるよ

ゲームリーダー全国大会

5月の総会で出た話ですが、ゲームリーダーの全国大会を開催して、現場の悩みや苦勞を話しあうべしという提案がありました。後日の活動メンバーの会議でも、その提案に賛成する発言が出ました。私も常日頃の活動スケジュールが混んでいるため、フォローアップ研修にまで手が回らないことを気にしていたので、どのような形で実行に移すか検討してまいります。

エビデンス創出委員会

一方、別世界のような日本認知症予防学会の、「エビデンス創出委員会」に応募して、メンバーに連なることを許されました。当NPOから3名が出席して、ゲームとエビデンスの接点を探ることになります。これは決して余計

なことではなく、よりゲームの効果を広く社会に訴えたいと願うてのことです。

友好団体誕生

東京の仲間が発奮して、「一般社団法人みんなの認知症予防ネット」と名付ける団体活動がスタートしました。今後は東西協力して「津々浦々にポストの数ほど」を目指してまいります。

新天地を開拓して、「みんなの認知症予防ゲーム」で初参加の方たちが喜んでくださっても、そこで満足しては法人活動の目的は半分しか達成できません。

意識の改革というもう一つの大きな目標にも向かって進まれますように激励・応援していきたいものです。

理事長 高林実結樹

36号
 2016年7月10日
 編集・発行
 NPO法人
 認知症予防ネット
 〒611-0031
 京都府宇治市広野町
 一里山15-10
 電話
 0774-45-2835
 FAX
 0774-45-2793
 メール
 npo@n-yobo.net
 HP <http://www.n-yobo.net/>
 FB <https://www.facebook.com/yobo.net/>

第12回通常総会報告

第1号議案 平成27年度（2015年度）事業報告

1. 認知症予防の啓発・広報事業

- (1) ホームページは9月にリニューアルする予定でしたが、事務局体制再構築の遅れにより「工事中」表示のままとなり情報提供が不十分になりました。
その代替としてフェイスブックを開設しました。パソコンの環境をお持ちの方は、ぜひご覧下さいますようお願いいたします。検索は「特定非営利活動法人認知症予防ネット」ですべて公開していますので、誰でも自由に見て頂くことができます。
- (2) 通信紙
年3回の発行を続けていた通信の発行が、事務局体制再構築の遅れにより夏と秋の2回しか発行ができませんでした。
- (3) 平成27年度、ゲームの名称を既報のとおり、「スリーA」と誤用する事を止めて、「みんなの認知症予防ゲーム」と変更したことを受け、広報に欠かさない配布用のチラシ、パンフレット類の文言を可能な限り改訂致しました。

2. 提言活動

宇治市内の高齢者福祉施設での提言が稔り、認知症の早期発見が期待できるタッチパネル式機械を導入されることが決まった由です。職場内研究発表に留まらず、施設事業の目標を認知症予防にまで、拡大されることが期待できます。

3. 講師派遣事業

平成26年度よりも総数は漸増しました。活動メンバーをフル動員しての限度ぎりぎり一杯の活動でした。
(メンバーは分担して各地に出張しています)

活動種類別年間比較表	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
講演	39	58	55	63	63	40
教室・サロン・体験等	84	153	192	240	290	360
各種講習会・認定試験等	32	55	79	94	118	123
会議・提言・学会・イベント・ラジオ等			43	47	68	71
計	155	266	369	444	539	594

ゲームリーダー養成講座は、地元での自主開催と、各地に講師派遣を行うリーダー養成講座との2種類がありますが、いずれも法人責任で行うリーダー養成講座であることの証しとして、7月以降は発行する修了証に全国共通の通し番号を付けて、責任の所在を明示しました。

7月以降3月までの9ヶ月で、330人のゲームリーダーの誕生をみました。

4. 認知症予防に関する講演会等の開催

- (1) 自主開催としての教室事業は宇治市内・京都市内・八幡市内で、月1回や、月2回の頻度で行いました。
- (2) 自主開催のリーダー養成講座は5講座1シリーズとして、宇治市内で、25期から28期まで月2回のペースで行いました。昨年度からは「まごころ大久保ケアセンター」のご協力でNP0の事務所から徒歩5分の会場に移動しました。京都府、近畿一円、四国愛媛県からの受講生も迎えました。
- (3) 講師資格認定試験
昨年の総会で議決を頂いたゲームリーダーを養成する講師資格を認定する新規事業については、NP0自身の模索しながらの準備に、かなりの時間を要しましたが、年度末の3月18日に、第1回の試験を実施することができ

第十二回通常総会を終えて

毎年の総会で、ご出席の皆様から信任を頂き、ここまで活動を継続する事ができました。会員の皆様から、合格証を頂いたわけで、大きな喜びです。

一方では、会員間のつながりが弱いか、総会以外に意見をいう機会が無いとかのお声も聞かせていただいています。ご尤もと言うほかありませんが、一年間の活動報告をご覧いただけますとおり、体力・能力以上の594回の活動を、メンバー八人が、それぞれ準備万端整えて出掛けるだけで精一杯、既に、パンク状態というのが、偽らざる弁解です。

なんとか事務局体制を立て直して、皆様のご要望にお応え出来るようにと願っています。しばらくのご猶予をお願い致します。

理事長 高林実結樹

ました。

講師候補生は、単に教室でのゲームのリードが上手くても、それだけでは不十分です。認知症からの引き戻しを、受講生に実力を植え付ける“教育能力”がなければ、ゲームリーダー養成講師として結果を出すことはできません。

講師としての理論的理解と、言語化を体現できているか、その審査を行いました。

ゲームリーダーを育てる能力は、各地での教室が永続できる能力を持つリーダーを育成して貰わないと、意味がありません。ルールのみで育つリーダーでは、簡単なルールですからすぐに飽きられて、教室そのものが形骸化、希薄化し、内容の伝承が出来ないでは困ります。

継続運営が可能になる教室のリーダーを養成する実力が、講師認定の条件です。それで、その審査の方法を検討しました。

テスト審査会は3月18日に実施し、2名の講師を認定しました。

試験後の講評も、有能なゲームリーダー養成・教育能力を持つ人材を育てる新人講師への教育の一環になったと手応えを感じることができました。

審査員には、昨年度の総会で新たな理事就任の認証を頂いた3人のうちの、佐々木理事と中村理事の二人です。

講師認定審査会の準備から整理までの一切と総務万般は原理事の担当で、役割分担の理事会体制が整った試験が出来たことを、ここに報告いたします。

本日の事業報告の中で、講師資格認定審査委員長の佐々木理事からその報告が有るはずでしたが、韓国に講演に行かれているため本日は欠席、中村理事に報告と試験事業についての感想を、ここで簡単にお願います。

5. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

- ① 認知症予防ゲームテキストの年間出庫数は、26年度は1790冊をピークとして昨年度は1136冊に減少。DVDは26年度の184枚の出庫に対して121枚と同じく減少しました。

養成講座の開催数が増加しているにも関わらずテキストの頒布が減少した理由は、再受講の希望者が増えた事によります。中には3度の受講生もおられて、熱心に学ばれています。

教室が290から360に増えたので自然、少数参加される若年認知症の本人さんたちが、目の前で改善されるのを複数の方から体験報告を聞き、感動を頂きました。この実績を強化したい。そのためには、ゲームリーダーの実力を涵養して、単に笑ってもらいさえすれば良いという安易な教室の質を、専門的に認知症の改善、効果を高める方向に、力を注ぎたいと将来指針になりました。

- ② 行方不明者の“安心バッジ”は好評で、7000個作成しましたが、見本と称しての無料配布が多数であり、会計面では赤字です。NPO会計とは別会計で、寄付で賄っています。東北見舞い事業と同じく、第3セクター的な扱いです。黒字には程遠いのですが、バッジのお陰で京都市内から奈良県天理市まで無銭外出で出掛けて、行方不明寸前になった90才のレビー小体型の認知症を患っておられる女性が、無事に最短時間で帰宅できたケースが実際にありました。御家族が非常に喜ばれたので、苦労は報



安心バッジ

認知症による身元不明の方が一人でも助かれれば考えたオレンジ色の缶バッジ。裏側に名前と電話番号を書いたシールを貼り付けます。

われました。資金が枯渇したらバッジ事業は止める予定です。制作費は一個65円と計算していましたが、説明書印刷と袋詰め作業を外注に出すことにしたため、現在は1個79円が制作費です。京都市内の作業所をお願いして、袋詰め作業をして貰っています。

昨年からはゲームの名称を「みんなの認知症予防ゲーム」と改めて再スタートとしましたが、おおかたのご賛同をいただいて、名称変更はスムーズに浸透してきました。中には旧来の名称に拘りをもって、NPOから退会するメンバーも出ました。残念な出来事でしたが、どのような状況になっても、当NPO法人は志を曲げず、飽くまでも超高齢社会への貢献に邁進した2015年度の活動であったことを報告致します。

当NPO法人の目的は福祉の増進に寄与することです。認知症による社会の苦悩をやわらげること、微動もしない目的です。そのためにはゲームの方法も推敲研究を重ねて、認知症予防・発症者へは改善の効果を高める努力をしています。年々成長、良い意味での変化を遂げています。「旧来の陋習を破り、天地の公道に基づくべし」との先人の教えを実行している活動の報告を、今年も総会でこのように出来ますことは、会員皆様のご理解とご支援のお陰と、心から有り難く思っています。厚く御礼申し上げます。

以上をもちまして、平成27年度の活動報告を終わります。

◇

第2号議案

平成27年度事業活動計算書
平成27年4月1日から平成28年3月31日

特定非営利活動法人 認知症予防ネット

科目	金額(単位:円)		
I 収入の部			
1 財産運用収入		-	
2 会費・入金収入			
会費収入	635,200		
入金収入	21,000	656,200	
3 事業収入			
認知症予防の啓発・広報	0		
教室開催の提言	214,000		
講師派遣謝礼	3,395,632		
講演会等の開催	343,000		
その他、法人の目的を達成するために必要な事業	1,922,200	5,874,832	
4 寄付助成金収入	3,600	3,600	
5 雑収入			
雑収入	70,000		
受取利息	323	70,323	
当期収入合計			6,604,955
収入合計			6,604,955
II 支出の部			
1 事業費			
人件費	2,809,258		
認知症予防の啓発・広報	301,732		
教室の開催の提言	49,384		
講師派遣	1,309,705		
講演会等の開催	0		
その他、法人の目的を達成するために必要な事業	1,017,105	5,487,184	
2 管理費			
人件費	0		
事務委託費	600,000		
通信運搬費	41,634		
消耗品費	9,441		
その他	357,653	1,008,728	
当期支出合計			6,495,912
支出合計			6,495,912
当期活動収支差額			109,043
前期繰越活動収支差額			2,520,565
次期繰越活動収支差額			2,629,608

監査報告書

2016年4月30日

特定非営利活動法人 認知症予防ネット
理事長 高林 實結樹 様

監事

平田



私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人 認知症予防ネットの2015年度（平成27年度：2015年4月1日から2016年3月31日まで）の業務 監査及び会計監査を実施した。

業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）に当たっては、理事会他の会議に出席し、必要と認める場合には質問をおこない、意見を表明した。

会計監査（財産の状況に関する監査）に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問等を行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。

ここに、私は上記期間に係る事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が2016年（平成28年）3月31日における財産の状況を適正に表示しているものと認める。

以上

第3号議案 平成28年度（2016年度）事業計画

1. 認知症予防の啓発・広報事業

昨年度と同じく、ホームページ・ブログ・機関紙・チラシ・リーフレット等の広報活動を継続します。但し機関紙は「NPO法人認知症予防ネット通信」を今年度より季刊とし、年3回発行を4回発行に増やします。

その他、テキスト・DVD等の頒布、各種アンケートへの回答、パネル展示・ワークショップ参加等、他団体との協働にも積極的に参画いたします。

NPO法人認知症予防ネットの活動を、実行するに留めず、可能な限りエビデンス研究も試みてまいります。

2. 提言活動

公私、立場の如何を問わず、今年度も提言活動を地道に、チャンスを逃がさず行ってまいります。

提言は表だっては見えにくいですが、決して無駄な活動ではないと考えています。

3. 講師派遣事業

(1) 講演依頼は、可能なかぎり対応いたします。

(2) 教室支援は、可能なかぎり対応いたします。

(3) ゲームリーダー養成講座は、遠隔地であっても、要請があれば可能なかぎり対応いたします。

(4) 他団体との交流は、可能なかぎり応じていきます。

(5) 上記以外でも、講師派遣依頼があれば可能なかぎり対応いたします。

4. 学会発表

日本認知症予防学会での活動発表は、過去4年継続して一般の部で発表してきましたが、今年度はエビデンス創出委員会に属して、研究的事業に取り組む予定です。

これは決して当法人の名誉心ではなく、科学的証明がないからと言ってゲームを否定的に評価する風潮が一部にある事実を、可能であれば払拭して、早く社会の認証を得ることで、隅々まで予防ゲームの恩恵を展開したいという願いからです。当法人の事業は、ゆくゆくは国全体の認知症対策への礎石の一つに成り得ると信じるからです。定款第5条の①啓発事業、②の提言事業の資料に役だつものを目指し、⑤に謳っている「法人の目的を達成するために必要な事業」に適合するものです。

5. 自主教室・自主講座の開催

法人所在地での自主事業教室と講座は、規模は小さいものの効果はあがりつつあり、「みんな」への有効性を証明できるように本年も努めます。

自主開催事業としての「青い鳥養成講座」は会場を変えましたが、内容は年々深めており、今年度は新たに京都市内でも定期的なゲームリーダー養成講座の開催に取り組みます。担当は中村理事といたします。

6. 理事会

新しい理事による理事会では、銘々の経験を發揮していただき、広報紙の作成、ホームページの刷新、講師資格認定制度など、従来の基礎の上に、新たな事業を分担して理事の職務（法人運営）を全うすべく臨んでまいります。

7. ゲームの名称

昨年度よりゲームの名称を「みんなの認知症予防ゲーム」と変更し、かなり定着してきましたが、なお研鑽を積んで、「みんなの認知症予防ゲーム」の浸透を図ってまいります。

8. 新規事業

昨年の総会でできまりました新規事業の、資格認定制度は緒につきました。

試験方法は、事前に提出して頂くペーパーテストと、当日行う実技試験と、口頭試問の3問方式です。この方式は、能力を調べるだけでなく、受験そのものに教育的効果が大きいと確信が得られました。自信を持って今年度よりは改善を加えて、本格的に始動いたします。ペーパーテスト9問は公開していますので、皆様もご自宅で見ていただければ幸いです。

9. 事務局機能の構築

事業計画を遂行するため、現状では理事会と事務局の体制刷新は未だ不十分な点があるので、外注可能な事務部分を外部に委託するなど、なお効率良く改善してまいります。

10. その他

理事の任期は定款では2年と定めています。今年度は任期満了が4名ですが、1名再任とし、昨年総会でご承認を得て就任していただいた新理事3人を主力に新規事業に担当理事を置いて理事会の総力発揮で運営してまいります。

以上

特定非営利活動法人認知症予防ネット2016年度収支予算

収入の部		議案書記載		単位：円		
科目	2015年度 予算額	2015年度 決算額	2015年度 予決算比	2016年度 予算額	前年度 決算比	備考
年会費	750,600	594,200	-156,400	594,200	0	正会員61名、賛助会員93名
入会金	15,000	18,000	3,000	18,000	0	正会員6名、賛助会員6名
小計	765,600	612,200	-153,400	612,200	0	
事業収入	認知症予防の啓発・広報	20,000	0	-20,000	10,000	10,000
	教室開催の提言	100,000	214,000	114,000	200,000	-14,000
	講師派遣謝礼	3,500,000	3,395,632	-104,368	3,200,000	-195,63
	講演会等の開催	300,000	343,000	43,000	300,000	-43,000
	その他必要な事業	2,500,000	1,922,200	-577,800	2,000,000	77,800
	小計	6,420,000	5,874,832	-545,168	5,710,000	-164,832
寄付金	100,000	3,600	-96,400	9,700	6,100	
小計	100,000	3,600	-96,400	9,700	6,100	
雑収入	0	70,000	70,000	100,000	30,000	人権フェスタ助成金、大阪ガスG助成金
預金利息	200	323	123	300	-23	
小計	200	70,323	70,123	100,300	29,977	
当期収入合計(A)	7,285,800	6,560,955	-724,845	6,432,200	-128,755	
前期より繰越金				867,800	867,800	
収入合計(B)	7,285,800	6,560,955	-724,845	7,300,000	739,045	

支出の部

科目	2015年度 予算額	2015年度 決算額	2015年度 予決算比	2016年度 予算額	前年度 決算比	備考
事業支出	認知症予防の啓発・広報	900,000	82,944	-817,056	200,000	117,056
	教室開催の提言	10,000	49,484	39,484	50,000	516
	講師派遣、他	3,500,000	4,111,728	611,728	3,500,000	-611,728
	講演会等の開催	300,000	13,540	-286,460	100,000	86,460
	その他法人の目的を達成するために必要な事業	150,000	1,150,823	1,000,823	1,000,000	-150,823
	消耗品費	10,000	221,721	211,721	200,000	-21,721
	小計	4,870,000	5,630,240	760,240	5,050,000	-580,240
管理費	人件費	1,200,000	600,000	-600,000	900,000	300,000
	外注費	240,000	269,795	29,795	300,000	30,205
	通信運搬交通費	60,000	65,974	5,974	100,000	34,026
	消耗品費	24,000	9,441	-14,559	12,000	2,559
	その他	24,000	63,518	39,518	60,000	-3,518
小計	1,548,000	1,008,728	-539,272	1,372,000	363,272	
当期支出合計(C)	6,418,000	6,638,968	220,968	6,422,000	-216,968	
当期収支差額(A-C)	867,800	-78,013	-945,813	10,200	88,213	
次期繰越金(B-C)	867,800	-78,013	-945,813	878,000	956,013	
支出合計(B)	6,418,000	6,638,968	220,968	7,300,000	661,032	

第5号議案

役員の変更に関する件

任期満了ならびに再任理事・監事名簿

平成28年6月30日満了 原口 熱美 理事
 平成28年6月30日満了 中野 正子 理事
 平成28年6月30日満了 村岡 洋子 理事
 平成28年7月1日付け 再任 高林 實結樹 理事
 平成28年7月1日付け 再任 平田 研一 監事

《参考：今回改選対象外の理事》
 原悦子 (任期：平成29年6月30日)
 中村都子 (任期：平成29年6月30日)
 佐々木典子 (任期：平成29年9月30日)



みんなの認知症予防ゲーム 活動報告2016年4月～6月

2015年度活動累計		
講演40	教室・サロン360	講座試験等123
イベント15	会議53	学会1 提言1 ラジオ1

2016年4月

7日	養成講座	京都府宇治市	ゲームリーダー養成講座 青い鳥29期第1講
8日	教室	京都市右京区	西院みんなの認知証予防教室
9日	教室	京都市北区	鳳徳サロン
10日	教室	滋賀県大津市	比良里山クラブ
11日	教室	京都府宇治市	介護者ふあみりの会同窓会
11日	教室	京都府宇治市	グループホーム鳳凰槇島教室
12日	教室	京都府木津川市	木津川台ゆーゆークラブ
13日	教室	京都府井手町	井手町地域包括支援センター
13日	教室	京都府城陽市	フレンドルーム
15日	教室	京都府城陽市	西部デイサービスセンター
15日	教室	京都市山科区	ウイズフィール京都山科健康教室
17日	教室	京都府宇治市	宇治明星園養護老人ホーム
20日	講演	大阪府大阪市	城東区東中浜地域活動協議会
21日	養成講座	京都府宇治市	ゲームリーダー養成講座 青い鳥29期第2講
22日	教室	京都府城陽市	陽和苑物忘れ予防教室
22日	教室	京都市北区	鳳徳会館サロン
23日	教室	京都市下京区	下京社協/永松(ながまつ)学区
26日	教室	京都市北区	元町学区社会福祉協議会
26日	教室	京都府宇治市	とんがり山のでっぺん DE
27日	教室	京都府城陽市	陽東苑
27日	教室	京都市北区	鷹ヶ峯学区社協すこやか学級分科会
28日	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター
28日	楽譜書き	京都府宇治市	西宇治地域福祉センター

2016年5月

9日	セミナー研修	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
9日	教室	京都府宇治市	グループホーム鳳凰槇島教室
9日	教室	京都府宇治市	介護者ふあみりの会同窓会
11日	教室	京都府木津川市	木津川台ゆーゆークラブ
11日	教室	京都府井手町	賀々苑/井手町地域包括支援センター
11日	教室	京都府城陽市	フレンドルーム
12日	養成講座	京都府宇治市	ゲームリーダー養成講座 青い鳥29期第3講
14日	教室	京都市北区	鳳徳会館サロン
15日	講演	京都府福知山市	認知症予防の会総会記念講演
15日	教室	滋賀県大津	比良里山クラブ
15日	教室	京都府宇治市	宇治明星園養護老人ホーム教室
19日	教室	京都市山科区	ウイズフィール京都山科
21日	総会	京都府宇治市	第12回通常総会
23日	教室	京都府城陽市	西部デイサービスセンター
23日	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
23日	教室	奈良県香芝市	「かごめ」居宅介護支援事業所
24日	教室	京都市北区	鷹ヶ峯学区社協すこやか学級分科会
24日	教室	京都府宇治市	とんがり山のでっぺん DE
25日	養成講座	京都府宇治市	ゲームリーダー養成講座 青い鳥29期第4講
25日	教室	京都府城陽市	陽東苑
26日	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター
26日	教室	京都府宇治市	NTT ふれあい光
27日	教室	京都府城陽市	陽和苑物忘れ予防教室

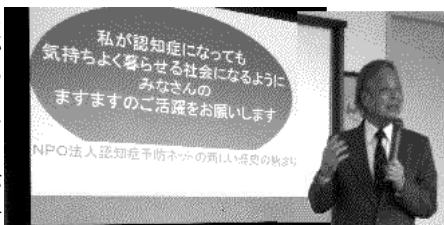
2016年6月

1日	養成講座	滋賀県草津市	草津市健康福祉部長寿いきがい課
2日	講演	大阪府大阪市	HRC 友の会・文化学習委員会
3日	教室	大阪府八尾市	八尾市 健康福祉部 高齢福祉課 1
6日	養成講座	滋賀県草津市	草津市健康福祉部長寿いきがい課
8日	教室	滋賀県日野町	日野町役場介護支援課 地域包括支援センター
8日	教室	京都府城陽市	フレンドルーム
8日	教室	京都府木津川市	木津川台ゆーゆークラブ
8日	教室	京都府井手町	井手町地域包括支援センター
9日	養成講座	京都府宇治市	青い鳥養成講座29期第5講
10日	教室	大阪府八尾市	八尾市 健康福祉部 高齢福祉課
10日	教室	京都市右京区	西院デイサービス みんなの認知証予防教室
11日	教室	京都市北区	鳳徳会館みんなできいき
12日	講演	京都府南丹市	はぎの里後援会総会
12日	教室	滋賀県大津市	比良里山クラブ
12日	養成講座	山口県岩国市	岩国市社協ゲームリーダー養成講座
13日	養成講座	山口県岩国市	岩国市社協ゲームリーダー養成講座
13日	教室	京都府宇治市	ふあみりの会同窓会
13日	教室	京都府宇治市	GH 鳳凰槇島教室
15日	教室	滋賀県日野町	日野町役場介護支援課 地域包括支援センター
16日	養成講座	京都府宇治市	青い鳥養成講座 30期第1講
16日	養成講座	三重県松阪	松阪市第二地域包括支援センター
17日	教室	大阪府八尾市	八尾市 健康福祉部 高齢福祉課
17日	教室	京都府城陽市	西部デイサービスセンター
17日	教室	京都市山科区	ウイズフィール京都山科健康教室
18日	講演	大阪府大阪市	コムケア関西
19日	教室	京都府宇治市	宇治明星園養護老人ホーム教室
19日	養成講座	神奈川県相模原市	相模原市保健福祉局
20日			保険高齢部高齢者支援課
20日	養成講座	滋賀県草津市	草津市健康福祉部長寿いきがい課
21日	教室	京都府宇治市	とんがりやまのでっぺん DE
22日	教室	滋賀県日野町	日野町役場介護支援課 地域包括支援センター
22日	教室	京都府城陽市	陽東苑
23日	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター
23日	教室	京都市北区	鷹ヶ峯学区社協健やか学級分科会
23日	教室	京都府宇治市	NTT ふれあい光
24日	講演	京都市上京区	乾隆地域包括支援センター
24日	教室	大阪府八尾市	八尾市 健康福祉部 高齢福祉課
24日	教室	京都府城陽市	陽和苑物忘れ予防教室
25日	講演	大阪府大阪市	放出地域包括支援センター
28日	教室	京都府井手町	弥勒会
29日	教室	滋賀県日野町	日野町役場介護支援課 地域包括支援センター
30日	教室	京都府井手町	弥勒会
30日	養成講座	三重県松阪市	松阪市第二地域包括支援センター

第十二回通常総会第二部

記念講演会

「みんなの認知症予防ゲームへの大きな期待」新しい歴史が始まりそうですね、とパワーポイントでカラフルな画面に映し出された文言に、会場は講演の内容に期待が大きく膨らみました。



講師はコミュニケーションケア活動支援センターの佐藤修氏。認知症予防に関心深く、広い世界観を持つ在野の良心の指導者です。大きな福祉を理念に、気持ちよく暮らせる社会を目指し活動を勧め、「つながりこそケアのはじまり」というお話しがあり、当法人との接点もこの点にあるとのこと。そして七年前から東日本のゲーム普及の協力を約束し、現在に至っている由。活動の中で気付かれたこと、課題などをあげ、其れに対する提案を画面で示され、みんなの認知症予防ゲームについて「ただゲームを広げ知るだけでなく、みんなで一緒にゲームを進化させよ

講演後認知症予防について身近に感じる問題についてグループ討議



討議結果発表

うという姿勢、色々な考え方を包み込んで理念を広げていこうと言う姿勢、みんな仲間、それぞれが主役、新しいものを創り出し、常に成長進化する「躍動感」をもつて誰もが生きやすい社会を目指して欲しいというご提案でした。画面での結びの言葉は「私が認知症になってもみんなと気持ちよく暮らせるように、皆さんのますますのご活躍をお願いします」そして第十二回通常総会を期して「NPO法人認知症予防ネットの新しい始まり、2025年は日本を元気な高齢者で埋め尽くしましょう」でした。◇



おたより

ゲームに初参加の方の感想

東京・加藤良江

4月9日に初めて参加された方から、率直な感想を頂きました。ご本人の了解を頂きましたので、ご紹介させて頂きます。

まったく初めての経験でしたが、ひとつひとつのプログラムに意味があるのだ、と認識をあらたにしました。どちらかといえば、デイサービスのプログラムなどを、なぜこんなことをしなければならぬんだ、としかめつ面する高齢者と同じように考えてしまっていたのです。しかし自身、指折りや三拍子の運動で間違えてしまいました。

加藤さんをはじめ、講師のかたの巧みな進行、パフォーマンスにも感心しました。まさにプロですね。私自身は高齢者介護の現場にいるわけではありませんが、ボランティアでもこういう活動に参加してみたいと思いました。◇

ありがとうございました。◇

近隣の高齢の方たちのために

Kさんより

認知症予防ゲームを教えていただいていたから、一年間は道具を揃えたり準備期間でした。

その後、ボランティアグループ「とも会」で、月に一回の教室を開始しました。参加者さんも沢山になり、パートワンがパートツウになり、今五月からは、パートスリーを開くことになりました。

一時間はゲームをして、仲間の特技を活かして音楽療法や、手話コース(童歌)、また簡単な物作りなどもしています。近隣の高齢の方たちが、今の生活が少しでも長く続いていきますようにと、仲間と一緒にがんばっています。

通信35号について

東京都 I氏より

この度は通信35号をご惠送頂き誠に有り難うございます。文字が大きくなり、大変読み易くなりました。

今回はゲームリーダーを養成する講師資格認定審査を初めて実施された御事が掲載されていて、興味深く拝読

しました。

九つの課題の中で、「リーダーの資質」と「ゲームにおける優しさ」が特に注目しました。ゲームの指導技術が高くてもその方の人間性が大きいカギをにぎるとは、すべてのことに通用することだと思います。それにしても7ページの活動報告を拝見して、その多さにびっくりしました。一日に五つもの教室のある日が2回もあり、高林様も大変多忙な日をお過ごしのことと拝察し、敬服の至りでした。どうぞお体を大切にがんばって下さい。 敬白

平成28年4月20日

リーダー体験の感想

根本しのぶ

5月14日Kさんのご紹介で精華町 I カフェでSさんとリーダーやってきました！

Sさんはほんと上手でした。皆さんへの話しかけ、トークも慣れてました。私はトークは全然できずゲームだけでいい。とにかく反省点だらけ・

リズムではスローからうまく持つていくことができなかった。すぐ早めになってし

まつて・

一人おじいちゃんが「できん〜」と手を降ろしてしまった時、私はとっさにそれをフオローできませんでした。「できないことはトクですよ〜！脳が活性化してるんですよ〜」と口から全然出てこなかった・

私の右隣がそのおじいちゃん、左隣が小学低学年の男の子三人、お手玉では子供たち大はしゃぎで、おじいちゃんに『「変えて」が聞こえん〜』と怒られました。子供たちよりもっと大きな声でいくべきでした。Tさんが「いい子にする子、はい〜」と子供達をうまく鎮めてくれて助けられながらのゲームでした。お手玉の最初は、ロボットバージョン「つか・んで・みぎ・へ」をやったら良かったと反省会の時にTさんから指摘を頂き、私自身も即座にそれができなかったこと大反省です。どじょうさんはゲームそのものが皆を大笑いさせてくれるので、それでちょっとだけ救われました。

失敗はいっぱいありましたが、本当に貴重な経験ができました。帰りには自分自身が皆様から元気を頂いていて「これはお金とか関係なく、クセになるよね」と、S

さんに車で送ってもらいながらそんな話しました。

5月20日ケアハウスK

「Iカフェの反省点をリベンジする？」とKさんから重ねてお誘いを頂いて、Hさんが勤務されている「ケアハウスK」で1時間がみんなの認知症予防ゲーム「を行いました。リーダー2名・スタッフ3名・参加者さん10名

「リズム・お手玉・どじょうさん」のパートをやらせて頂きました。ゲームになかなか付いてこれない方が男女二名おられ、女性の方はスタッフさんにサポートされながら頑張っていました。男性の方は途中で手を休められました。ゲーム終了後にどうでしたかの質問に「楽しかった」と答えられ、その奥様が、ホワイトボードに書かれたゲームメニューを「ようできてる！〜」とおっしゃりながら紙にメモされました。ゲームでなかなか付いてこれなかったもう一人の女性の方が、しばらくして遠くの方からゆっくりと近づいてこられ、言葉を絞り出すように休み休み「これは毎日やっているか」「上の人だけか」と聞かれました。「今日が初めてです」「毎

日やりたいですか？」と言いますと「私は週に二日だけや」「面白かったな」とおっしゃられ、感動を覚え「ありがとうございます！」と心から感謝を伝えました。

やはりこちらの方が元気頂いてます。*上の方というは入居者さん、その方はデイの方、と後で判りました。

リーダー養成講座修了後のアンケート

佐久市・相馬留美

先日リーダー養成講座で6名のリーダーさんが誕生しました。修了後のアンケートを一部抜粋して報告します

・今まで認知症予防の様々な講座を受けたがしっくりこなかった。このゲームはきちんと知つてかかないといけないと思った。常に新しいことをすることが良いように思っていたので同じことをするこのゲームにびっくりした。これからはゲームを広げるために何らかのアクションを起こします (公民館活動している女性)

・ただゲームをやつて楽しかったというよりどうして、どんな意味があつてこういうゲームがなりたつているのかよくわかった。

コミュニケーションのとり方も勉強になりました。
（女性）

・ずっと思っていたこと、介護者が癒せる場所を持ちたいと思っていた

（介護の経験ある女性）

・テキストをまた読み返したいと思います

（地区の会を運営している女性）

・ゲームをやり続けることで自分のものにしたと思う
（元介護士、認知症の両親と同居中女性）

・ゲームに入る前の言葉かけをスムーズにしたい
（NPO団体の代表）

テキスト上、数え歌の両手の親指立てで「1」のしぐさが手話の世界だと「5」を表すなどご意見、質問もあり、積極的なメンバーでした。

東日本大震災から五年が経って

原口熱美・平山眞砂美

平成23年の震災から一年後、私たちは年配の方々の様子が気になり、ご縁を持た気仙沼大島にボランティアに伺いました。仮設住宅三か所を回り「みんなの認知症予防ゲーム」を紹介し、楽しんでいただきました。その後もゲームを気に

入った方たちが、東北に少しづつ広めていくてくださっています。

あれから

四年が過ぎ、

震災後五年、

NPOの東北支援のひと区切りで、この春

ふたたび以前伺った方々を訪ねてきました。

仮設住宅の入居者もずいぶん減り、

新しい生活を始められていました。仮設

に残られている方々も次の生活の準備中

です。

会いたかった人の中に、どこに越された

かも判らず、多分ここだろうと教えても

らい突然訪ねて行ったのですが、私たちの

ことを覚えていて新居に招き入れてくだ

さり、いろいろな話に花が咲きました。

また今回は、いつもお世話になっている

宿の明海荘さん

に、おしまハ

ティケアセンタ

という施設を紹

介していただき、

施設長と支援セ



以前は無かった海の中の防波堤

ンターの管理者の方に「みんなの認知症予防ゲーム」をお伝えすることが出来ました。◇

東日本大震災お見舞い

派遣事業を終了します

テレビニュースで見た、地震の恐ろしさ、津波のすさまじさは5年経過しても儼に焼き付いて、消えることがありません。被害の無かつた京都から、ゲームでのお見舞いができればと、NPOの独自事業として活動メンバーを何度か派遣することが出来ました。

その都度、派遣メンバーからは、各地での復興状況の報告がありました。復興といっても心に負われた傷は癒やしようなないこととお察しします。「みんなの認知症予防ゲーム」が、少しでも元氣の基となって、お役に立つようにと願っています。その後、いろんな場所で継続的に活用されている話もお聞きますので、派遣事業は良い結果に繋がったのかなと思っています。

今春の宮城県気仙沼市大島訪問の報告記事をもってNPOからの派遣事業としては最終となりますが、東日本でご苦労なさっている皆様のご健康と、弥栄を心から祈っております。

（理事会）

事務局からのご案内

会員募集

私たちは「みんなの認知症予防ゲーム」が全国津々浦々まで広がることを願って活動を続けています。

ご賛同下さる方は、NPO法人の会員となつて、この活動を支援して下さいますようお願いいたします。

正会員	入会金2,000円	
	年会費6,000円	
賛助会員		
・個人	入会金 1,000円	
	年会費(1口)2,400円	1口以上
・団体	入会金 3,000円	
	年会費(1口)24,000円	1口以上
認知症予防ネット通信	無料送付	
郵便振替口座		
加入者名	NPO法人認知症予防ネット	
口座番号	00900-1-223642	

刊行物

・認知症予防ゲーム ⅡテキストⅡ

・講義録

・認知症に不足するものは楽しい思い

・韓国における認知症予防ゲームの 実践から学ぶ 講演記録

問合せ

NPO法人認知症予防ネット事務局

電話 0774-4528235

メール npo@n-yobo.net



リニューアルした明海荘